

飛鳥宮跡周辺 散策マップ

見て、歩いて、ときめいて。飛鳥の里で出会う悠久の刻。

同寺
徳星
←

English MAP

明日香村



主要スポット解説

飛鳥水落遺跡



飛鳥時代に設置された漏刻台（水時計）遺跡。時間は、国家を統治するために導入された重要な概念の一つで、役人の勤務や民衆の生活などを統一的に管理する基準となりました。東アジアで現存する唯一の漏刻台遺跡と言われています。石貼り基壇の一部は当時のものです。

飛鳥宮跡



飛鳥の宮都の中心地で、日本で初めて同じ場所に4代にわたって宮殿が建てられました。瓦は伝わっていましたが、屋根は、従来からある板葺きが採用されていたようです。現在は、飛鳥浄御原宮の頃のものと思われる井戸跡と当時の建物跡を示す柱位置が整備されています。

飛鳥坐神社



皇宮に近く鎮座し守護神として尊崇された、飛鳥地方を代表する神社。現在の宮司は八十七代目に当たります。境内には、多数の陰陽石が祭られ、子授けの神として信仰されています。2月の第一日曜日にされる「おんだ祭」は、西日本三大奇祭の一つとして有名です。

飛鳥寺跡



東アジアから伝来した仏教を崇拝するために蘇我馬子によって建てられた、わが国最初の本格的な仏教寺院。日本で初めて屋根瓦と礎石が使用されました。鞍作鳥の作と伝わる高さ約2.75mの釈迦如来坐像（飛鳥大仏）は、本堂に、今も当時の姿で現存しています。

飛鳥京跡苑池



飛鳥宮に付属する宮庭庭園の遺構。本格的な日本の宮庭庭園としては最古のものといわれ、宮中の宴や外国使節の接待、水を利用した祭祀の場として使用されました。発掘調査後、埋め戻されていますが、隣接する休憩舎内で発掘当時の様子を知ることができます。

酒船石遺跡



天皇が水の祭祀で使用したといわれる遺跡。丘陵北側の谷間には、中国で聖獣とされる亀を象った石槽（亀形石造物）があり、石敷きが広がっています。丘の上には、謎の石造物「酒船石」があります。当時、丘は石垣で囲まれており、現在もその一部を見ることができます。

龍蓋寺(岡寺)



飛鳥の地を荒らしていた龍を義淵僧正が池に封じ込めたことから、正式名を龍蓋寺といい、日本最初の厄除け霊場として知られています。本尊は、高さ4.85mの我が国最大の塑像で、境内にある仁王門や書院とともに国の重要文化財に指定されています。

橘寺跡



「日本書紀」の記述から、創建当初は尼寺であったことが伺えます。当時は、百済の影響を受けた伽藍配置で、現在も境内に、特殊な形の塔心礎を見ることができます。往生院の花の天井画や、善悪の表情を持つ「二面石」も見どころです。聖徳太子誕生の地と伝わっています。

川原寺跡



天智天皇が斉明天皇を弔うために建立した私的寺院が、後に、国家寺院となりました。飛鳥川対岸の飛鳥宮を強く意識した建物であったようです。境内には、中金堂に使われた白大理石の礎石を見ることができます。日本で初めて写経が行われた場所としても知られています。

石舞台古墳



当時の最有力豪族であった蘇我馬子の墓であると言われています。墳丘形状は、中国の皇帝陵の影響を受けた方墳です。現在、巨石を積み上げた横穴式石室や、周囲には周溝や外堤の貼石を見ることができます。江戸時代の絵図には、既に石室が露出した状態が描かれています。

石神遺跡



国内外の使節をもてなす迎賓館があったとされています。明治時代に、田んぼの中から噴水機能つきの石造物である「須弥山石」「石人像」が発掘されました。庭園に置かれ、人々の目を楽しませたものであろうと考えられています。現在は、飛鳥資料館に展示されています。

甘樫丘



展望台からは、飛鳥・藤原の宮都を見渡すことができます。蘇我氏の邸宅があったのではとも言われています。丘陵中腹には、飛鳥の地の景観を残すために貢献した万葉歌碑が建立されています。麓の甘樫坐神社は、古代の裁判である「盟神探湯」が行われたと伝わっています。

「飛鳥・藤原」の 世界遺産としての価値

「飛鳥・藤原」は、今から約1,400年前、中国大陸及び朝鮮半島との政治的・文化的交流のもと、日本で初めて古代国家の宮都が誕生し成立したことを示す考古学遺跡群です。「飛鳥・藤原」で成立した宮都は、その後の平城京や平安京の造営と進化に大きな影響を与えました。

宮殿・官衙跡、仏教寺院跡、墳墓で構成される2つの宮都、「飛鳥の宮都」から「藤原の宮都」への変遷は、東アジアの古代国家形成期における中央集権体制の形成を示すことができる唯一の証拠です。日本国誕生の歴史の舞台が、1,400年以上経た現在も、歴史的風土の中に良好に伝えられています。

詳細はこちらをご覧ください

世界遺産「飛鳥・藤原」協議会 HP



日本遺産とは？

地域に残る文化財や伝承を「物語」として楽しむ文化庁認定の制度です。明日香村では3つの日本遺産ストーリーを体感できます。

3つの物語

○日本国創成のとき ～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～
推古天皇や斉明天皇、額田王など、日本国創成を支えた女性たちの足跡を、飛鳥の史跡を巡りながらたどるストーリー。



○1300年つづく日本の終活の旅
～西国三十三所観音巡礼～
岡寺をはじめ、日本最古の巡礼とされる西国三十三所観音巡礼の歴史と、1300年以上続く祈りの文化に触れるストーリー。



○1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」
竹内街道・横大路を舞台に、古代から現代へ続く人・文化・交流の歴史を感じるストーリー。



飛鳥・藤原オリジナル御朱印

「飛鳥乃余韻」



2026年7月、「飛鳥・藤原の宮都」が世界文化遺産に登録されました。その構成資産16カ所の古墳や遺跡では、オリジナル御朱印「飛鳥乃余韻」を販売しています。ぜひ飛鳥乃余韻とともに「飛鳥・藤原」の観光をお楽しみください。

「飛鳥乃余韻」販売場所一覧

飛鳥びとの館	●牽牛子塚古墳	●天武・持統天皇陵古墳
高松塚壁画館	●高松塚古墳	●中尾山古墳
四神の館売店	●キトラ古墳	●檜隈寺跡
奈良県立万葉文化館	●飛鳥京跡苑池	●飛鳥宮跡
飛鳥資料館	●山田寺跡	●大官大寺跡
かしはらナビプラザ（大和八木駅前）	●藤原宮跡	
今井まちなみ交流センター華麓	●本薬師寺跡	
かしはら観光インフォメーションセンター神宮前	●菖蒲池古墳	
石舞台古墳 受付	●石舞台古墳	
酒船石遺跡受付	●酒船石遺跡	
あすか夢の楽市	●飛鳥水落遺跡	



「飛鳥乃余韻」HP

御朱印 スポット 一覧

飛鳥寺	奈良県高市郡明日香村飛鳥682 TEL: 0744-54-2126
橘寺	奈良県高市郡明日香村橘532 TEL: 0744-54-2026
川原寺跡	奈良県高市郡明日香村川原1109
弘福寺	TEL: 0744-54-2043

※各寺により、御朱印受付時間が異なります。事前のお問い合わせをおすすめします。

観光サイト **あすか時間**

観光情報やイベント、
モデルコースなど
最新情報はこちら！



あすか来訪ガイドライン

明日香の風景を100年先へ。
明日香村を訪れるみなさま
に知ってほしい「10の約束」
と散策マナー。



明日香村公式Instagram

明日香村の魅力を
発信中！
ぜひフォローして
ください。



アクセスガイド

電車

JR 大阪駅	JR環状線 約15分	JR 鶴橋駅	近鉄 鶴橋駅	特急 約30分	近鉄 大和八木駅	約5分	近鉄 橿原神宮前駅	約4分	近鉄 飛鳥駅
近鉄 大阪難波駅	特急 約35分								
近鉄 大阪阿部野橋駅	特急 約40分								
近鉄 京都駅	特急 約51分								
近鉄 名古屋駅	特急 約1時間50分				近鉄 大和八木駅	約5分			

バス

日中 明日香周遊バス「赤かめ」

橿原神宮前駅東口→飛鳥→飛鳥大仏→万葉文化館西口→石舞台→岡寺前→川原→飛鳥駅

飛鳥駅→川原井→岡寺前→石舞台→万葉文化館西口→飛鳥大仏→飛鳥→橿原神宮前駅東口

朝・夕 明日香周遊バス「赤かめ」

橿原神宮前駅東口→飛鳥→飛鳥大仏→万葉文化館西口→岡寺前→川原→橿原神宮前駅東口

日中 桜井飛鳥線

桜井駅南口→万葉文化館

バス目安の時間

●埋蔵文化財展示室

明日香周遊バス「赤かめ」：「飛鳥」下車
橿原神宮前駅東口から約9分 飛鳥駅から約28分

●奈良県立万葉文化館

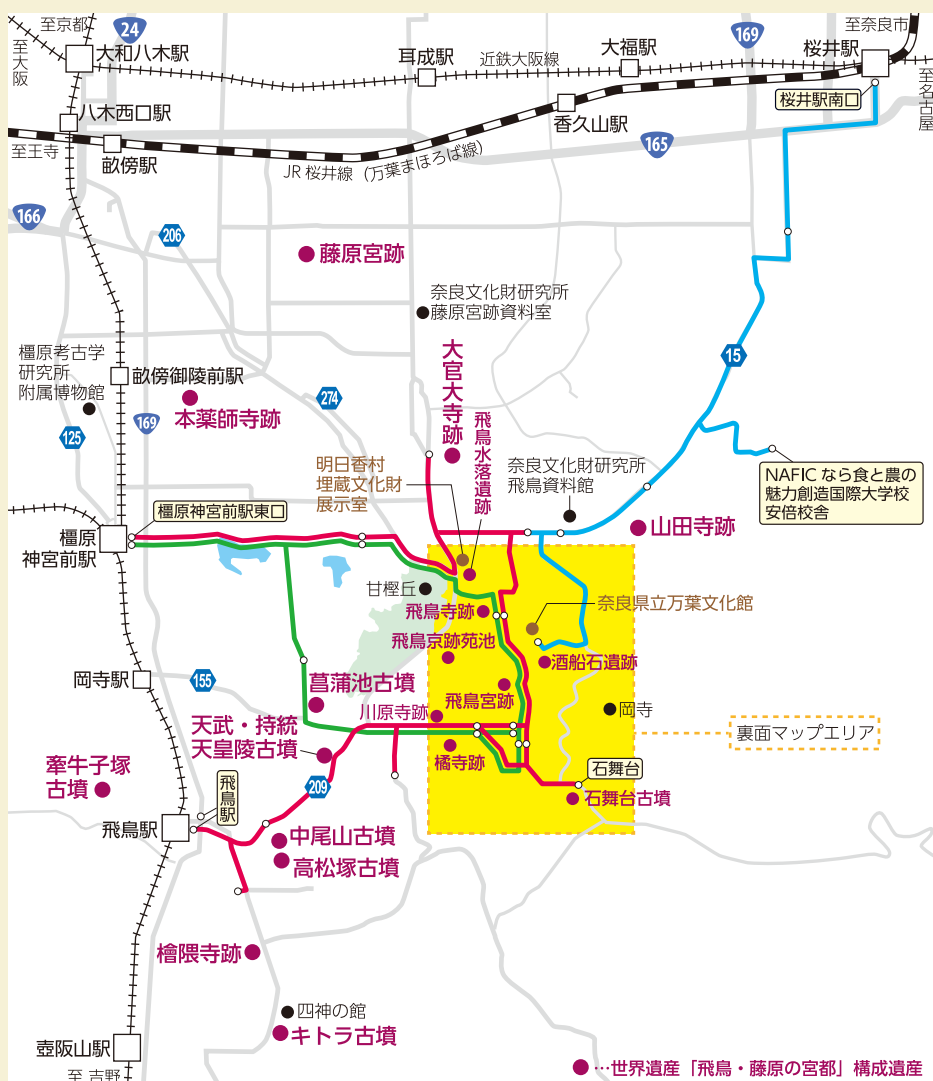
明日香周遊バス「赤かめ」：「万葉文化館西口」下車
橿原神宮前駅東口から約19分 飛鳥駅から約23分
桜井飛鳥線：「万葉文化館」下車
桜井駅南口から約25分

●石舞台古墳

明日香周遊バス「赤かめ」：「石舞台」下車
橿原神宮前駅から約26分 飛鳥駅から約16分

バスに関すること

- ・時刻表
- ・路線図
- ・明日香周遊バス
- ・フリー乗車券 など



こちらをご利用いただけます

グリーンスローモビリティで巡る歴史クルーズ

- ガイド付きの70分のツアーです。
- WEB予約のみ



あすかデマンド乗合交通

- WEB予約のみ（初期登録が必要）
- 停留所以外では、乗降はできません。



レンタサイクル

小回りが利く自転車で、明日香の風景を満喫でき、電動自転車なら、さらに快適です。
※詳細は各店舗にお問い合わせください。

